

第1回 二宮町幼稚園・保育園・こども園・小学校交流会開催される ～「先生たちも仲良しなんだよ」～

5月13日(水)、二宮町民センターにおいて、二宮町幼稚園・保育園・こども園・小学校交流会が開催されました。今回は昨年度に年長児を担当した幼稚園・保育園・こども園の先生方と今年度に小学校1年生を担当している先生方の21名が参加しました。

この交流会は、小学校入学前後における子どもの不安や戸惑いといった心理的負担を少なくすることとともに、子どもの発達や学びの連続性を確保し、幼児教育から小学校教育への円滑な接続がなされるよう幼稚園・保育園・こども園と小学校の連携を図ることを目的として実施されています。

「令和7年度に話し合ったアイデアを、今年はどう動かすか」をテーマに、グループごとの話し合いを行いました。幼保こ小の連携を一步前に進めるために、「自分たちの園・学校で、今年できること・やれることは何か」を具体的に考える時間です。

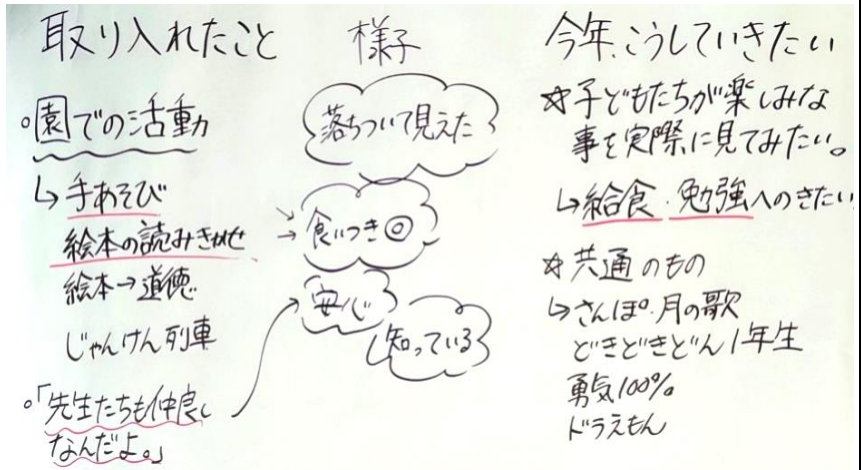
各グループからは、さまざまなアイデアが出されました。中でも多くのグループに共通していたのは、「園での活動を小学校に取り入れる」という視点です。幼稚園・保育園・こども園でなじみ深い手遊びや絵本の読み聞かせ、道徳の教材としての絵本活用、じゃんけん列車など、子どもたちが慣れ親しんだ活動を小学校でも取り入れてみると、子どもの反応もよくなる、安心感につながるだろうという意見が出ていました。

また、参観や授業を通じて幼保こ小の先生たちが互いに行き来し、「先生たちも仲良しなんだよ」ということを、子どもが感じられるようになることの大切さも共有されました。先生同士のつながりが見えることで、子どもたちの心に安心感が生まれ、新しい環境への一步を後押しすることにつながるでしょう。

話し合いを終えた先生方の表情は、どこか晴れやかに見えました。「小さなことでいい、まず動かしてみよう」という前向きな空気が、会場全体に広がっていたように思います。

すべての子どもたちが入学期より安心して、のびのびと学んでいくためには、幼稚園・保育園・こども園と小学校の連携をより一層強化して、子どもたちを多面的にとらえていく必要があります。一方、学習面におきましても、子どもたちが主体的に学んでいくためには、幼稚園・保育園・こども園で培ってきた資質能力を踏まえた授業づくりを小学校でも引き続き推進していく必要があります。

二宮町教育委員会は、幼稚園・保育園・こども園・小学校の「架け橋期」を大切に、新入学した子どもたちが安心して学校生活に移行できるよう、より良い組織的な連携のあり方をしっかりと考えてまいりたいと思っております。・・・すべては、二宮の子どもたちのために・・・



感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>

